

研究課題名	定位的頭蓋内脳波および内視鏡を用いたてんかん外科手術についての多施設共同後方視的研究
研究の意義・目的	共同研究機関である大阪市立総合医療センターとともに、定位的頭蓋内脳波および内視鏡を用いたてんかん外科手術について、患者さんの体への負担に関するデータをまとめることにより、高い治療奏効率(手術によって発作が高い確率で改善すること)と低侵襲性(手術が患者さんに及ぼす負担がかかるいこと)を併せ持つてんかん外科治療戦略の確立を目指すことです。本研究は大阪市立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日～ 2026年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014年4月1日から2021年7月31日の間に大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科で薬剤抵抗性てんかんに対しててんかん外科治療を受けた患者さまが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 年齢、性別、診断名、病歴、脳波所見、画像所見、高次脳機能検査所見、病理所見、手術所見
試料・情報の他機関への提供	この研究では、他の施設に情報は提供いたしません。また、共同研究機関である大阪市立総合医療センターから情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 講師 宇田 武弘 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科 副部長 國廣 誉世
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者 宇田 武弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 TEL: 06-6645-3846 FAX: 06-6647-8065 メール: neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp 担当者: 宇田 武弘 大阪市立大学医学部附属病院 脳神経外科